



当日は、多少風が強かったものの、見事な晴天に恵まれ、多数の来賓のご臨席を賜り、盛大に開催されました。

大会に出場したのは、県下九地区から選出された代表チームで、小型ポンプの部一〇隊、ポ

ンブ車の部八隊の合計十八隊が出場し、炎天下のなか熱戦が繰り広げられました。

開会式は、総指揮者（坂下大会副会長）を先頭に入場行進の後、小大会副会長の開会の言葉、国旗掲揚、黙祷、第二一回

大会の優勝旗返還（ポンプ車の部多可町消防団、小型ポンプの部神河町消防団）が行われました。続いて岡山大会会長あいさつ、井戸兵庫県知事から激励の言葉をいただき、来賓を代表して梶谷兵庫県議会副議長から祝辞を賜りました。選手宣誓では神戸市灘消防団Aチーム曾木謙二選手が力強く大会への意気込みを述べ、最後に、審査長である大西消防学校長から競技上の諸注意が行われ、開会式は終了しました。

競技までの準備の間には神戸市消防音楽隊による素晴らしいドリルパレードが行われ、応援に駆けつけた方々や選手を鼓舞すると、競技開始に向け、会場の雰囲気も盛り上がりつつありました。

競技は小型ポンプの部、昼食休憩を挟んで、ポンプ車の部の順に行われました。強い夏の日差しが照りつける中、各地区代表としての誇りと自信を胸に、選手の皆さんは、毎日の練習の成果を遺憾なく発揮され、真剣なまなざしで操法に取り組みしていました。各選手のきびきび

# 兵庫消防

発行所  
財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 関山 巧  
定価 1部44円  
題字 井戸 知事

火のしまつ  
君がしなくて  
誰がする

とき..平成二〇年八月三日(日)  
ところ..兵庫県立広域防災センター

## 第二二回 兵庫県消防操法大会

とした動きに息をのむような緊張感の漂う会場でしたが、ホースを延長し、火点の標的が放水によって落ちる度に、各地区から応援に駆けつけた応援団や観客から大きな声援と盛大な拍手が沸き起こっていました。

出場した十八隊すべての操法が終了し、大西審査長から審査結果の発表が行われると、会場からは選手に対して惜しめない拍手が送られました。

大会結果は次のとおりです。

- 小型ポンプの部
- 優勝 福崎町消防団
  - 準優勝 南あわじ市消防団
  - 第三位 加西市消防団
- ポンプ車の部
- 優勝 神河町消防団
  - 準優勝 多可町消防団
  - 第三位 たつの市消防団



神河町消防団は前回の小型ポンプの部に引き続き二大会連続での全国大会出場となります。全国大会での健闘を心から祈ります。



小型ポンプの部 優勝 福崎町消防団

### 成績一覧表

	小型ポンプの部	ポンプ車の部
優勝	福崎町消防団	神河町消防団
準優勝	南あわじ市消防団	多可町消防団
第3位	加西市消防団	たつの市消防団
第4位	たつの市消防団	篠山市消防団
第5位	加古川市消防団	南あわじ市消防団
第6位	丹波市消防団	朝来市消防団
第7位	神戸市灘消防団 A	稲美町消防団
第8位	神戸市灘消防団 B	川西市消防団
第9位	猪名川町消防団	
第10位	豊岡市城崎消防団	



ポンプ車の部 優勝 神河町消防団



「神戸市北消防団と  
北区八多町」

神戸市北消防団長

柘木 和明



神戸市の消防団は、昭和二二年四月勅令により、従来の警防団が発展的解消した後、同年一〇月神戸市消防団条例の制定により、同年十一月二十五日、十八消防団五、四二五人の定員で発足しました。現在の北区は、その当時兵庫区であり有馬、有野、山田の三消防団が発足していました。その後、五か村の神戸市への編入により道場、八多、大

消 防 団 今 昔

51

「町団はひとつ」

佐用町消防団長

松田 芳夫



我が町佐用町は兵庫県の最西部に位置し、岡山県に隣接した面積三〇七、八人口約二二、〇〇〇人の山間部の町です。平成十七年一〇月に佐用郡四町（佐用町・上月町・南光町・三日月町）が合併し、新しい佐用町となり、その半年後の十八年四月に佐用町消防団が結成され、団長以下四支団、五五分団

沢、長尾、淡河の五消防団が発足し現在の北消防団（八支団）の原型が昭和三六年にできあがりました。昭和五八年一〇月に一消防署一消防団制により有馬から淡河の八消防団は、北消防団に統合となりそれぞれが支団に組織改正されました。

私の住む八多町は、いまでは道路が整備され、山上にはニュータウンが立ち並び、麓には大型店舗などの商業施設ができています。昭和四二年に私が十九歳で八多消防団に入団した当時は、山林や田畑に囲まれた農村地帯で団員のほとんどが農業を営んでいました。また、消防団積載車など一台も配備されていなかった時代でしたから、火災や災害が発生すれば小型動力ポンプを台車で引いたり、トラックに積み込んでほとんどの団員が現

場へ駆けつけていました。現在では、北消防団六七分団・班すべてに消防団積載車が配置され小型動力ポンプも高性能となり消防団の資機材は充実された反面、サラリーマン化で区域外に就労している団員が増えているため、昼間の災害現場に出動できる団員が少なくなっています。

私たちの地域は、ふれあいセンターを拠点として、地域の各種団体（自治会、婦人会、民生、消防団等）が毎月一回の会合を持ち、各種団体の調整を行い、地域が一丸となって防火防災に取り組んでいます。北消防団は地域行事に積極的に参加するとともに、皆様の安全安心確保のため、地域防災の要となるよう努めていきます。

で一、一四〇名の団員でスタートしました。合併以前から旧四町の消防団が活動を共にする機会も多々ありましたが、実際に合併してみると諸課題もありました。しかし「町団はひとつ」を大前提に、町民の安全と安心を守るため、地域に密着した信頼される消防団となれるよう日々研鑽しています。今後とも再編成を含めた組織体制づくりを課題とし、より充実した消防団を目指しております。

私が入団した昭和四七年当時と比較すると、今は合併により町面積が広がった一方、人口の減少と少子高齢化による過疎化が進んでおり、団員の確保が年々困難となっています。その反面、いつ来るか分から

地 区 通 信

消防操法県大会で好成績を目指す！

いざ、県大会へ！

篠山市消防団

平成二〇年七月六日（日）、悪天候を心配した中で好天に恵まれて、八月三日（日）に三木

市の兵庫県消防学校で開催される「第二回兵庫県消防操法大会」出場予選を兼ねた「平成二〇年度篠山市消防ポンプ操法大会」を開催しました。

大会には、市内二一の各分団から、一から二隊、「ポンプ自動車部」に十三隊、「小型ポンプ部」に一〇隊、合計二十三隊で競技を行いました。

既に県大会には、「ポンプ自動車部」で優勝した隊が出場することになっていましたが、「小型ポンプ部」でも二隊出場させる分団があるなど、白熱

した競技が行われました。振り返りますと、四月二十九日（祝）に開催されました、消防署員からの「操法講習会」、五月からは各分団への実技講習の開催など、消防団員は、二ヶ月以上もの長期にわたって消防ポンプ操法に取り組んできたので

す。県大会に出場する「ポンプ自動車部」で優勝したのは、第六分団（後川地区）でしたが、大会後の消防長の講評でもあったように、僅差の争いでした。県大会では、丹波地区の、篠山市の代表として、過去にない好成績を目指してがんばります。



県大会に向けて、「操法開始!!」

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- 屈折梯子付消防ポンプ自動車
- 化学消防ポンプ自動車
- 水槽付消防ポンプ自動車
- 普通型消防ポンプ自動車
- 高発泡機付消防自動車
- 消防救助工作車
- 小型ポンプ積載車
- シパウラ小型動力消防ポンプ
- 各種消防用品
- 消防用ホース



株式会社 吉谷機械製作所

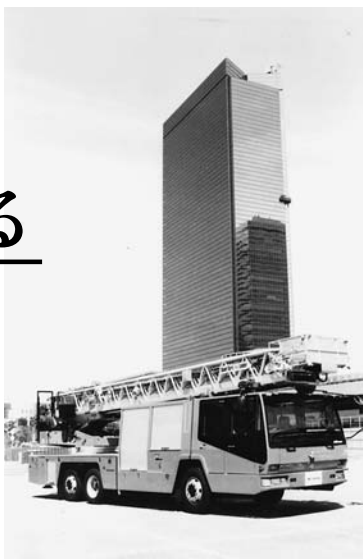
本社・工場 鳥取市古海 3 5 6 の 1  
TEL (0857) 23-2211(代)  
FAX (0857) 27-1766

美と力を備えた  
新しいテクノロジーが  
社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する  
モリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003大阪生野区小路東5丁目5番20号  
TEL06(6756)0119 FAX06(6754)3473  
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山





「我が支団長、西消防団長に就任」

神戸市西消防団

北井 道男 団長



西消防団玉津支団が担当する玉津地区は明石市に隣接しており、西区の中で、最も早く都市化の波を受け、住宅や商業施設が多く混在する複雑な用途地域です。

今回はその玉津支団の長であり、今年四月から西消防団の長に就任された北井道男団長をご紹介します。

初対面の方は、がちりした体格、風貌から、少し怖い印象

わがまちの団長さん

152

「終りよければ すべてよし」

姫路市姫路西消防団

梅元 義昭 団長



梅元団長は、昭和三四年、当時の姫路市消防団太市分団に入団され、平成十四年に姫路西消防団太市分団長、平成十八年に副団長を歴任、平成二〇年四月に団長に就任され、来年の一月には、消防団人生満五〇年を迎えられます。

仕事は、電気工事業を営んでおられ、趣味は、ゴルフ、釣り、短歌等多才多藝らしいところでは、養蜂にもチャレンジされ

をもたれるかもしれません。実は温厚・誠実な人柄で、普段は農業に従事されているほか、地域活動にも熱心で、自治会等の役員を歴任され、現在はJA兵庫六甲理事の要職に就かれており、地域の方々から厚い信頼を得ております。

また、団長の素晴らしい所は、並外れた統率力です。特に印象に残っているのは、玉津支団が

出場した、平成一〇年の第十七回兵庫県消防操法大会です。出場するからには優勝のみと大きな目標を掲げられていました。

一年以上の長期に及ぶ訓練の中で我々選手と共に汗を流し常に訓練に参加・指導され、選手・団員の士気の高揚に努められ、また、消防署や地元団体との調整に奔走、玉津地域を一致団結させ、我々選手がより良い環境のもと訓練が出来るように整えて

ております。普段は、蜜蜂を愛する心やさしい団長さんですが、火災等の災害が発生するといち早く現場に赴き、常に消防団員の先頭に立ち、最前線で陣頭指揮を取られ、現場では厳しい団長です。

座右の銘は、「終りよければすべてよし」で、「途中で失敗することもあるだろうが、最後まであきらめることなく、最善を尽くし、一つのことを成し遂げ、結果がよければ、すべてよし。」と常々おっしゃっております。

そして、行動には、「めりはり」、物事には、「けじめ」をつけ、有事の際には一致団結して全力で災害に取り組みしていく。そのため、地域の防人としての自覚と平日からの訓練が大事であるというのが信条です。そのことを実感したのは、平

頂きました。その功が実り、目標としていた優勝を果たし、横浜での全国大会に出場することが出来ました。

そして、更に驚いたことは、全国大会での応援団です。応援団が来るとは聞いておりましたが、自治会、婦人会、消防団OB、・・・その人数は一〇〇名以上、夜行バスに乗り、手弁当で遙か横浜まで来て頂きました。

応援団の方々への感謝、そして改めて団長の人望の厚さ・包容力を感じさせられました。

今後、持ち前の熱意で、常に先頭に立って西消防団をまとめ導いて行かれるものと思います。

玉津支団は一致団結し、西消防団の強靱な一支柱として、地域の防災活動に取り組みで参ります。皆様の応援のほどよろしくお願ひします。

成七年一月に発生した阪神・淡路大震災の復旧活動の応援に行った時の体験だったそうです。災害現場に全国から多くのボランティアの方がいられていました。私たちが消防団が規律ある統制のとれた活動をしている姿をボランティアの方が目の当たりにし、自然と私たちの指揮下に入り、いっしょになって復旧活動に取り組んだ時のこと思い出し、やはり普段からの厳しい訓練の積み重ねが、いざというときにものを言うことを身をもって体験されたそうです。

これからも地域防災のリーダーとして誇りを持ち、安全で安心して暮らせるまちづくりの担い手として、災害に対して率先して立ち向かっていく、地域で信頼される消防団を目指していきたいと考えておられます。

北から南から

「子午線のまちの消防団」

明石市消防団第六分団 角村 康義

明石市は、人口二九二、二二〇人(平成二〇年六月一日現在)、子午線(東経一三五度)がとおり、当市の東と北は神戸市に接し、西は加古川市、稲美町、播磨町と接しています。

面積は四九、二四㎢、周囲は六〇、四㎞、最長距離は、東西一五、六㎞(海岸線は一五、九㎞)、南北で九、四㎞、世界一

長い吊橋明石海峡大橋の全景が望める海峡交流都市です。気候風土も瀬戸内の温暖な環境に恵まれ、明石ダコ、明石鯛、明石のり、アナゴと海の幸が豊富です。

古代明石原人から、万葉の神秘、源氏物語の舞台にと、古い歴史をもつ明石市内には至る所に由緒ある史跡や名勝が多くあります。約十六㎞に及ぶ風光明媚な海岸線はマリンスポーツや観光の拠点都市としての機能を発揮、潮風と太陽、笑顔いっぱい

のまち、豊かな自然と歴史のロマン漂う街です。そんな東西に長いわが街の消防団は、一、〇四〇名の団員が八つの分団に分かれ構成されており、「子午線のまちの消防団」として活躍しております。

私の出身班は、ほとんどが祭りやこの地域で活躍している青年団、青年会の若いメンバーが入団しております。私が入団したのはちょうど二〇年前でした。

地元で自営を営んでおり、当時の班長に勧誘されました。日曜日や祭日は点検や訓練、そして、操法の訓練中は昼間に仕事、夜に練習と汗水たらしながらやっておりました。

われら若手消防団員

「サイレンの音が・・・」

豊岡市竹野消防団第一分団 副分団長 濱上 将 巳

一九九五年一月十七日午前五時四六分、淡路島北部を震源地とする兵庫県南部地震が発生。震源地とは目と鼻の先の明石市は死者二六人、負傷者一、八八四人、家屋の全半壊一万近くという未曾有の大被害を受けました。二〇〇〇年には、夏ごろからの風水害に見舞われ、台風二

一号、二三号によってこの地域でも多くの風水害・水害などの被害を受けました。これらの教訓で全国でも地震や水害などの訓練が実施され、もちろん、明石市でも地域と共に取り組んでおり、火災訓練以外にも水防訓練

を行い、消防団は水防方面隊を編成し活動しております。入団したいというよりは、仕方なくという方が強かった私ですが、活動する中で地元のひとに感謝されたことはうれしさも感じました。また、地域のため

に先輩や仲間たち、自治会や諸団体に活躍されている方々の姿を見ては、この地域のために頑張ろうという気持ち湧いてきます。「わがまちはわが手で守る。」を目標にこれからも精進してまいります。

今から思えば入団を機に変わっていったのだと思います。入団当初はまともに練習も出ていませんでしたし、実際に火事の現場に行くともなにかかわらず何も出ていませんでした。ですが、団員として活動する中で、先輩の叱咤激励、同期との切磋琢磨のおかげで、今の自分があるのだと思います。団員に課せられた仕事は、火災の消火活動だけではなく、地域の「安全安心」を担う役目も負っています。今、私がこの様な思いでいることも

夜、寝ていると「ウォーン オーン オーン」の音が目覚め、衝動的に体が動き、狂った様に服を着替えながら軽トラへ飛び乗る。

そんな事が、過去を振り返ると何度かあります。思い起こせば、なぜあんなに俊敏な動きができたのか自分でも不思議です。もともと私はマイペースで、よそで何かがあっても「え、何」



日本標準時のまち『あかし』



中継放水訓練・研修など日々研鑽に励んでいます



地 区 通 信

「地域を守れ！」  
水防訓練及び消防ポンプ操法訓練」

姫路市姫路東消防団

姫路東消防団は昭和四四年四月に発足して以来、分団の再編成を経て現在、団本部及び二〇分団七二〇人で組織され、消防ポンプ自動車二〇台、小型動力ポンプ付積載車一〇台を配備し、面積一〇五、一三平方キロメートルを管轄する区域には、一級河川の市川が流れ、また、世界文化遺産国宝姫路城をはじめとする文化施設、繁華街、商業施設、住宅密集地など多様な都市構造が形成されるなかで、約五、三〇〇世帯、一三三、〇〇〇人の生命・身体・財産を守っています。

当消防団の業務の一つに水防活動がありますが、平成二〇年



消防ポンプ操法の様子



水防訓練の様子

六月には地区水防隊との合同で各種水防工法の習得及び技術の向上を目的とした水防訓練を実施しました。  
この訓練では、水防工法の基本となる越水防止に対応する積み土の工法やせき板工法をはじめ、特に都市部での発生が予想されるマンホールからの雨水の噴出や地下街への浸水に対応する工法を実施しました。  
訓練内容としては、まず姫路東消防団の管轄区域において水害の発生が予想される地区を具体的に想定し、次に情報収集班が先行して水害の状況を確認、その後、水防工法実働班に状況を連絡することで必要な使用資

器材を調達し、各実働班は小隊長の指揮の下、役割担当を決めてきばきと操作を行いました。  
また、消防活動の基本となる消防ポンプ操法の訓練を春先から最寄りの消防署及び出張所において実施しました。  
この訓練の集大成として実施される消防ポンプ操法大会は、平成二〇年五月二十五日に実施され、参加二〇分団が日ごろの訓練成果を十分に発揮し、各分団接戦の末、増位分団が一位となりました。  
さらに増位分団は平成二〇年六月二十九日に開催された中播磨地区消防操法大会に姫路東消防団の代表として出場し、各地区代表の強豪チームと互角に渡り合い、優秀な結果を残しました。  
姫路東消防団の各分団は、今後も消防の任務を充分自覚したうえで、訓練を通じて有事の際に対応できる体制を維持できるように頑張っていきます。

兵庫県まとい会役員改選

平成二〇年六月九日(月)に舞子ビラ神戸において、兵庫県まとい会総会が開催され、任期満了に伴う役員改選が行われました。

会長には北播磨地区加西市支部の松本芳男氏が就任。新役員の方々はこのとおりです。

【会 長】

北播磨地区加西市支部  
松本 芳男

【副会長】

神戸地区神戸市支部  
石山 喜一

阪神地区川辺郡支部  
福田 富夫

東播磨地区高砂市支部  
田中 利昭

中播磨地区神崎郡支部  
坂田 義明

西播磨地区たつの市支部  
森川 展宏

但馬地区美方郡支部  
平澤 輝實

丹波地区丹波市支部  
松山 修治

淡路地区南あわじ市支部  
杉本美智夫

北播磨地区加東市支部  
柳 覺

西播磨地区揖保郡支部  
小山 猛

【監 事】

北播磨地区加東市支部  
柳 覺

西播磨地区揖保郡支部  
小山 猛

編集後記

まだまだ暑い日が続いておりませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では第二二回兵庫県消防操法大会について掲載しております。

消防団今昔には神戸市北消防団長松田和明さん、佐用町消防団長松田芳夫さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

操法大会は盛会のうちに幕を閉じることができましたが、選手として出場された方、朝早くから応援に駆けつけられた方、皆様お疲れ様でした。記者は操法大会を観戦するのは初めてだったので、その迫力に圧倒されてしまいました。神戸町消防団の全国大会での活躍にも期待ですね。

この時期は天候が急に変わることも珍しくありません。災害への備えを十分に残暑を乗り切りましょう。

「こんにちは！兵庫の消防団です」



<http://www.hyogoshoubou.jp/>

消 防 団 服

甲 種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽

乙 種 刺子・木綿

ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

株式 三 浦 消 防  
会社

姫路市竜野町1丁目1番地

電話 (姫路) 92-0447

(0792) 98-8663

- ・操法最適ホース : コンベVシリーズ
- ・小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般



西垣消防器具製作所

669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461

TEL:(079)672-3131

FAX:(079)672-3132

E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp

